

十和田バラゼミ「ゴールドグランプリ」獲得！



ゴールドグランプリに輝いた十和田バラ焼きゼミナールと十和田西高観光PRセンターの皆さん。全員で歓喜の「ラビアンローズ！」

来年は十和田市で全国大会開催、市を挙げての熱いおもてなしを誓う

10月18・19日の2日間、福島県郡山市で開催された「第9回B-1 グランプリin郡山」。2日間合わせて45万3,000人が来場しました。ご当地グルメを購入したかたによる箸の投票の結果、十和田バラ焼きゼミナール（通称バラゼミ）が1位のゴールドグランプリを獲得しました。

19日に郡山開成学園建学記念堂で開催された閉会式。第10位から次々と順位が発表され、1位の十和田バラ焼きゼミナールの名前が呼ばれると、会場からは大きな拍手が沸き起こりました。メンバーらは壇上の木村長敏^{たけとし}学長のもとに駆け寄り、大会中、大きな声で十和田のPRなどを行った十和田西高観光PRセンターの皆さんとともに涙を流しながら喜びを分かち合いました。

ゴールドグランプリ獲得の余韻が冷めやらぬ中、次回開催地として「十和田市」が正式に発表され、郡山市の品川^{まさと}萬里市長から小山田市長に対し、開催地の印である扇子が引き継がれました。小山田市長は「バラゼミに多くの投票をいただき、本当にありがとうございます。来年の大会は、郡山大会に負けないうよう、市を挙げて熱いおもてなしをしたい」と、力強く話しました。



次回開催地の印、大きな扇子が小山田市長に引き継がれました



来場者から好評を博した十和田西高生のパフォーマンス

大会の様子は次号の「広報とわた」に掲載いたします。



十和田バラ焼きゼミナール
ゼミナール長 畑中 宏之さん

みんなの思いが最高の結果に

今回の大会では、この2日間のための残り363日の活動がいかに大事かを痛感しました。

東日本大震災後、被災地での炊き出しボランティアで訪れた仮設住宅の皆さんが「あのときのバラ焼きの味が忘れられません」と、会場に駆け付けてくれて、涙が止まりませんでした。

私たちは最前線にただで、後ろに

はパンフレットを作ってくれたバラ焼きッズなど次世代を担う子どもたちがいます。十和田市を知ってほしいというみんなの思いが最高の結果に結び付きました。

来年は地元での開催。市民の皆さんにはこの機会をチャンスと捉え、自分たちが住んでいる地域に対して誇りを持ってほしい。そのことが「元気な十和田市」につながっていくと思います。オール十和田、オール青森で取り組んでいきましょう。

人口と世帯 平成26年9月末現在 ※（ ）内は前月比

- 人口/64,166人（-1人）男/30,729人（+12人）女/33,437人（-13人）
- 世帯数/27,215世帯（+7世帯）



～今日も無事でいてほしい～
みんなでつろう安全・安心なまち
セーフコミュニティ十和田

